

中高年再就職支援訓練プログラムの開発 及び検証実施に関する調査・研究 【調査研究概要】

分野：職業能力開発の実践に必要な調査研究
担当室名：調査開発室

1. はじめに

少子高齢化に伴う労働力人口の減少やグローバル化による産業構造変化の中、社会の活力を維持し、持続的な成長を実現するためには、生涯にわたり労働市場で活躍できる機会を確保し、その能力を活かせるようにすることが不可欠である。こうした職業人生が長期化する中で、中高年期以降における職業能力開発を充実させていくことが課題となっている。

中高年期以降の能力開発については、能力開発の職業訓練だけでなく、職業意識の維持・転換・向上を図る、今までの経験や能力を活かすという視点も必要であることから、経験交流会など再就職に向けた準備支援を含めた職業訓練が提供されることが重要である。

そこで、中高年を対象とした再就職支援を盛り込み、かつ、実践的な職業訓練を実施するための訓練カリキュラムを開発し、委託訓練の実施を通じての検証を行った。

なお、対象は管理監督者分野、営業販売分野、介護分野である。

2. 中高年齢者の実態調査

訓練カリキュラムを開発するために、中高年を対象とした職業能力開発に関する調査資料を収集した。次に、公的機関、再就職支援機関、訓練機関などにヒアリングを実施した。資料とヒアリングからまとめた中高年齢者の機能特性と対応を示す。

○長所

- ・経験により習得している技能、技術
- ・豊富な知識
- ・情緒の安定、就労に対する熱意
- ・労働意識、労働習慣、対人関係の培い

○短所

- ・前職経験による自己流を新たな職場でも固執
- ・前職の価値観、プライド
- ・加齢による身体機能の低下

以上、中高年齢者の特徴を「長所」、「短所」という視点でまとめている。本プログラムでは、長所を活かし短所を補うことを柱とした。これを基にしてカリキュラムの開発を行った。

○活かす

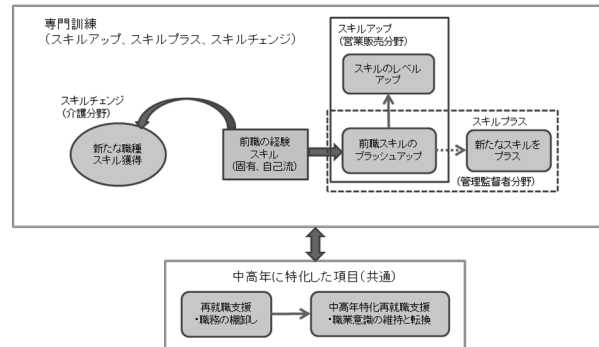
- ・前職の経験を整理し、自己流の見直し
- ・他の職場で通用性のある技能、技術の習得
- ・経験で培ってきた職業意識の維持と向上
- ・前職の経験に拘らず、新しい分野への切替

○補う

- ・自身の技能、技術、意識の客観化
- ・職業観、労働条件の変化への気づきと受容の促進
- ・身体機能低下へ配慮した訓練環境
- ・個別性の高いことへの対応

3. カリキュラムの開発

本プログラムで対象としていた3分野のイメージ



を図1に示す。

図1 3分野のイメージ

前職の経験やスキルをブラッシュアップするスキルプラスの管理監督者分野、スキルアップの営業・販売分野、そして新たな職種を目指すスキルチェンジの介護分野として、各々の分野をまとめた。

カリキュラムの特徴として、中高年に特化した再就職支援が挙げられる。これは中高年に対してのカリキュラムにおいては、専門分野だけでなく職業意識の維持、転換、向上を目的とした再就職支援が必

要なためである。

主な習得すべき事項は、「ヒューマンスキル、コン
セプチュアルスキル」「専門科目」「情報リテラシー」
「再就職支援」とした。

また訓練を実施する際の留意事項として、就職意
欲、受講意欲の向上のためや個人の経験の共有を図
るためにグループワーク方式を活用することを訓練
実施機関に提案した。

4. 検証訓練

開発したカリキュラムを基に委託訓練を実施した。
各分野の仕上がり象、主な専門科目、そして共通の
再就職支援は以下のとおりである。

○管理監督者分野

・仕上がり象

総務、人事労務、経理、情報セキュリティ等の知
識及び技能を習得し、様々な業種、職務において即
戦力となる人材として従事できる。

・主な専門科目

管理監督、人事管理、福利厚生、労働安全衛生、
社会保険、給与、財務会計、情報セキュリティ

○営業・販売分野

・仕上がり象

営業、販売業務の遂行に必要なビジネススキルを
習得し、就職先で営業販売部門の中核を担うことが
可能な人材に育てる。マーケティングに必要な情報
を抽出、分析し、営業販売活動の総合的な企画、立
案などができる人材の養成を目指す。

・主な専門科目

売上構成、利益、決算分析、コスト、営業販売業
務の基礎知識、個人情報や顧客情報の管理、Web サ
イト作成実習、マーケティング実習、営業販売活動
実習

○介護分野

・仕上がり象

介護に関する基本的な知識の習得と実技訓練の中
で実際に介護するための技術を学び、施設介護員お
よび訪問介護員としての業務に就職できるスキルを
身につける。

・主な専門科目

介護職員初任者研修（法定 130 時間）
企業実習（訓練期間の中盤に設定）

○再就職支援

（実施方法）

・キャリアコンサルティング

・グループワーク

（内容）

・ライフプラン、マネープランの再構築

・will/can/must による気付きと受容

・訓練受講者の交流、意識や情報の共有

実施した訓練に関して、表 1 に応募率、就職率に
ついて示す。

表 1 より、訓練全体の就職率が 90.6%であった。

中高年向けの職業訓練として実施した結果、高い
就職率を有し、中高年再就職支援訓練プログラムは
中高年齢者の再就職に有効であったと言える。

また訓練修了時に取ったアンケート結果を示す。

図 2 は訓練内容、受講環境などの満足度である。

表 1 応募率、就職率

分野	応募率 (%)	就職率 (%)
管理監督者分野	126.7	92.3
営業販売分野	33.3	60.0
介護分野	106.7	100.0
訓練全体	88.9	90.6

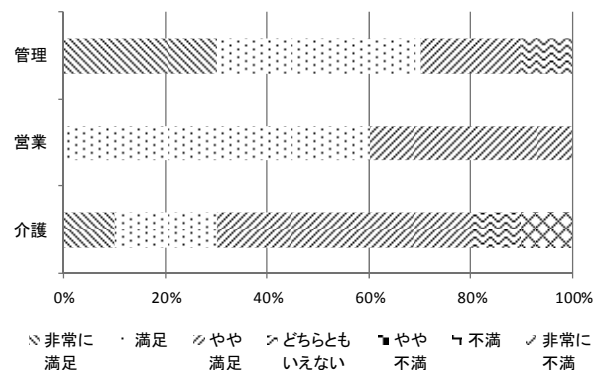


図 2 満足度

図 2 より満足度（非常に満足、満足、やや満足）
が 88.0%、であった。高い満足度を示していること
から、訓練受講者に適した内容であったと言える。

5. まとめ

中高年期以降における職業能力開発として調査・
研究を行った結果をまとめる。

・中高年齢者向けの職業訓練は、能力開発だけでな
く、再就職支援も重要である

・グループワークを活用することにより、高い訓練
効果が期待できる